

令和3年度 第1回越前町地域公共交通活性化協議会

議事録

開催日時：令和3年6月18日(金)

午前10時00分から午前11時50分まで

開催場所：越前町生涯学習センター2階会議室1

●出席者

- ・委員：20名
(欠席者1名)
- ・事務局：4名

●議事概要

(1) 会長選出について

	青柳委員が会長に選出された。
--	----------------

(2) コミュニティバス路線変更について

委員	周知方法はどのように考えているか。早めに十分な周知をお願いしたい。
事務局	近隣主要バス停やバス車内に張り紙表示する。
	承認を得た。

(3) 令和3年度事業計画及び予算について

委員	グーグルマップの経路検索とはどういうものか。
事務局	グーグル社が提供する地図アプリの機能のひとつで、目的地までの移動手段等を表示することができるもの。既に情報が搭載されている鉄道などと合わせて、越前町コミュニティバスの運行情報も令和3年4月から表示されるようになった。
副会長	情報の登載についての費用がかかっているのか。
事務局	費用はかかっていない。
委員	運賃も表示もされるのか。運行に変更があった場合、更新費用はかかるのか。
事務局	表示される。更新作業は手前で行うので費用はかからない。
	承認を得た。

(4) コミュニティバス運行再編について

委員	タクシーとデマンドタクシーの違いは何か。
事務局	タクシーは随時予約の区域無制限であるが、今回検討しているデマンドタクシーは、運行時間を日中の時間で、区域内での移動に限る。また2時間前まで事前予約が必要で予約状況によっては乗合いが発生する。さらに、利用できる時間は毎時00分を目安に迎車したいと考えている。
委員	料金はいくらか。運行事業者はタクシー事業者か。
事務局	検討中ではあるが、高齢者400円、一般が500円を想定。 検討中ではあるが、運行形態がタクシー業務に酷似しているので、タクシー事業者を想定。
委員	タクシー料金との差額を町が支払うのか？タクシー業者にとって不利益になるのではないかと？地域交通を活性化するために実施することで、タクシーが衰退することがないようにしてほしい。
事務局	現在のコミュニティバスの仕組みを継続していくことは困難であり、今後どうするか考えると、全国的な流れでもある、デマンド型運行になる。
委員	乗合ルートの利用はもともと高齢者などに向けたサービスとしてスタートしていると思っていたが。
事務局	コミュニティバスの利用者が大幅に減っているため、利用者の要望に応じて運行するので、費用が削減でき効果的である。利用者は高齢者が中心となるため、ドアツードアのサービスが非常に有効であると考えます。 県内他市町の事例では、あわら市、坂井市、若狭町、おおい町、高浜町でデマンドタクシーを運行しており、料金・運行区域・乗降地の設定等は様々で、地域の実情に応じて運行している。本町の制度については他の事例を研究し、次回10月の会議にて提案するので、ご意見をいただきたい。
副会長	次回の10月の会議の時に他の事例を示すと議論しやすいので、資料の作成を求める。あわら市の事例は、携わっていたこともあり把握している。高齢者の外出促進を目的に運行開始した。利用者も順調に増えている。
委員	デマンドタクシーは有効だと思う。タクシー会社に差額分を支払って運行するのであればそれでよい。
委員	区域内移動は理解したが、自宅からスーパーや病院などまで運行するドアツードア方式を考えているのか。
事務局	発着地点を限定しないドアツードア運行を検討している。
委員	そうなるとはほぼタクシーである。タクシーとすみ分けするというのが、違いが分からない。
事務局	タクシーとのすみ分けという点では、区域内運行、2時間前予約が必須、乗合いが発生する、などになる。料金を安く設定すると利用者はデマンドタクシーに流れることは明らかである。利用者の利便性を高めればタクシーに近づき、タクシー事業との差別化を大きくすれば利便性が低くなる。
委員	コミュニティバスがなくなる地域への説明を十分にしたい。
事務局	住民周知については十分な説明が必要であると考えており、高齢者が集まる

	集会等に出向いて説明会を実施する予定。また、コミュニティバスハンドブック時刻表を刷新し全戸配布する。その中にデマンドタクシーの利用方法も掲載する。また広報誌に特集記事を載せる予定。
委員	ドアツードアとなるとタクシーと同じ、行政が行う事業としてはサービス過多ではないかとも思うが。
副会長	ドアツードア方式と指定乗降場方式の検討も含めて次回協議会で提案して欲しい。
事務局	ドアツードアか乗降地を指定するかは非常に重要なポイントであり、10月に最終的な案として提案させていただきます。
委員	タクシー業界は乗務員不足により営業時間を切上げている状況で、タクシーとデマンドタクシーの予約が重複した場合、後の方の予約はいけなくなるが、運用上問題ないのか。
事務局	利用が集中する時間は必ずあるので、配車ができないケースは発生すると考える。先の予約者を優先し、後の予約者に車両が手配できなければ、車両が空いている時間へ誘導するなどの対応が必要になる。
	令和4年度に向けてコミュニティバスを運行再編することについては承認を得た。

(5) 生活交通確保維持改善計画について

	意見なし
	承認を得た。

●報告事項

(1) 令和2年度コミュニティバス及び路線バスの状況について

	意見なし
--	------

●その他

委員	集落が設置するバス待合所の補助制度について、特に多くの町民が利用するものについては、町の予算で設置すべきではないか。メルシ前バス待合所や朝日バス停は四方が囲まれておらず横殴りの雨風のときは防げない。コミュニティバスは丹南病院まで運行していないので、西田中で乗換えが必要で不便。あと4・5キロのことなので乗入れできないか。
事務局	バス待合所は町管理のものと集落管理のものがあり、合併後は集落が建築するバス待合所に対し補助している。メルシ前バス待合所は町管理である。前方開放型で雨風の吹込みがひどいようであれば、現場確認の上検討する。丹南病院までのアクセス強化については、福鉄バス鯖浦線が病院まで乗り入れしており、路線バス事業者との協議も必要となる。可能な限り丹南病院までのアクセスの強化をしていきたい。